

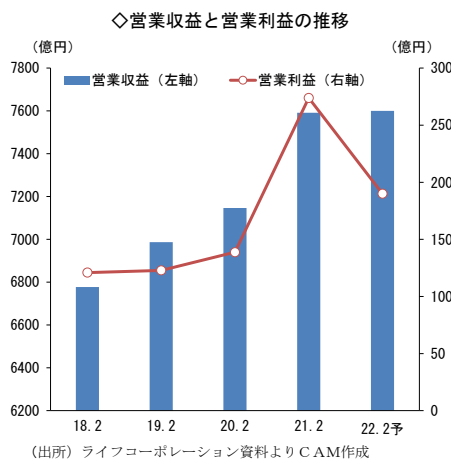
# 企業ニュース ライフコーポレーション

(東証1部: 8194) <http://www.lifecorp.jp/>

作成者: 高見澤晶子

## 首都圏・近畿圏で集中展開する食品スーパー大手

首都圏と近畿圏で店舗を展開する食品スーパー。21. 2期末の店舗数は280店（首都圏122店、近畿圏158店）。アマゾンとの協業によるネットスーパー事業拡大、自社クレジットカードや電子マネー機能付きポイントカードによるキャッシュレスの推進、健康・オーガニック志向に対応したプライベートブランド「ビオラル」の展開など、独自性を高めて他社との差異化を図る。2018～2021年度の中期経営計画では、上記の戦略の推進に加え、物流センターやプロセスセンター（生鮮品の仕入れや加工、配送を一括して行う拠点）の再構築に取り組んでいる。効率的な配送や製造・加工の集中化によるコスト削減が期待され、足元ではその効果が見え始めている。



## 下期は店舗改装とデジタル化投資を強化

22. 2期・第2四半期累計（3-8月）の連結業績は、営業収益が3, 871億円、前年同期比微増、営業利益が153億円、同10%減。既存店売上高は同2%減だが、前年同期に巣ごもり需要拡大で同9%増となったことを踏まえれば健闘したと言えよう。ネットスーパーも売上高44億円（前年同期は23億円）と順調に伸長した。利益面では、粗利益率が同0. 3ポイント改善の30. 6%と、好調だった前年の水準を維持した。利益率の高い総菜の販売が好調なことに加え、プロセスセンターの効果が表れている。一方、人件費を中心に経費が増加し、営業減益となった。

22. 2期の通期会社計画は、営業収益が7, 600億円、前期比微増、営業利益が190億円、同31%減。コロナ禍で遅れていた店舗改装やデジタル化投資を加速、投資計画を当初の162億円から105億円増額の267億円とすることなどを踏まえ、通期計画を据え置いた。ただし、上期までの営業利益の進捗率は80%と高く、投資の積み増しを考慮しても余裕含みの計画とみられる。また、1株当たり年間配当予想を期初の50円から70円に増額（普通配当10円増額、スーパーマーケット1号店出店60周年記念配当10円）した点も評価されよう。

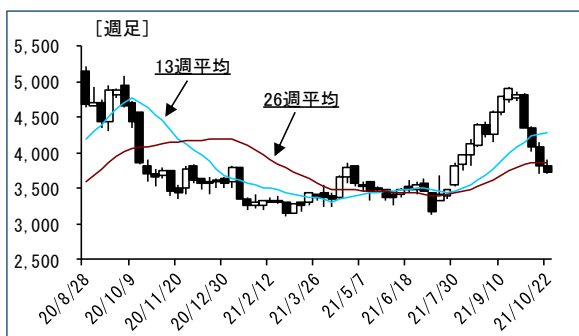
### [株価動向・投資判断]

ネットスーパーやビオラルの展開など、独自の取り組みが中長期的な売上拡大に寄与しよう。

<8194 ライフコーポ 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	営業収益	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20. 2	714, 684 ( 2)	13, 879 ( 13)	14, 558 ( 13)	7, 834 ( 6)	167. 2	40. 00
21. 2	759, 146 ( 6)	27, 388 ( 97)	28, 156 ( 93)	17, 824 ( 128)	380. 3	50. 00
22. 2 予	760, 000 ( 0)	19, 000 ( ▲ 31)	20, 000 ( ▲ 29)	12, 500 ( ▲ 30)	266. 7	70. 00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)

株価 (2021/10/22)	3, 735 円
年初来高値 (高値日)	4, 920 円 (21/9/17)
同 安値 (安値日)	3, 110 円 (21/2/26)
予想 P E R (22. 2 予)	14. 0 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	2, 283. 4 円
P B R	1. 64 倍
予想配当利回り	1. 87 %
(1株当たり配当金年70. 00円)	
R O E (21. 2)	19. 9 %
発行済み株式数	4, 945 万株